

2021年11月8日
日本原子力発電株式会社

日本軽金属株式会社における不適切行為に関する 東海・東海第二発電所及び敦賀発電所の調査結果の報告について

当社は、日本軽金属株式会社の不適切行為※を受け、東海・東海第二発電所及び敦賀発電所における同社製品の納入状況、使用設備及び影響を自主的に調査し、これまでの調査の結果を原子力規制庁に報告しましたのでお知らせします。

調査の結果、東海第二発電所の使用済燃料乾式キャスク（以下、「ドライキャスク」という。）のうち使用前のドライキャスクの一部（バスケット伝熱ブロック）に日本軽金属株式会社で不適切行為のあったアルミ板製品（以下、「当該製品」という。）が使用されていることを確認しましたが、日本軽金属株式会社による試験片の採取方法の違いがドライキャスクの未臨界維持機能及び除熱機能に影響を及ぼすことはなく当該ドライキャスクの使用に問題がないことを確認しました。

また、敦賀発電所2号機の起動変圧器の放圧板に当該製品が使用されていることを確認しましたが、同社による追加試験結果及び機器設置後の健全性確認から原子力発電所の安全性に影響はないと判断しております。

※：日本軽金属株式会社が、製品の性能試験を日本産業規格（JIS）の規定とは異なる方法で試験片を採取（圧延方向に対して平行に採取すべきところを直角に採取）して試験を実施していたため、JISの認証取り消し処分を受けた。

以 上